

ガーデンを考える会

第4回 被災地小学校支援報告



植え込みの方法についてガーデンを考える会の会員がレクチャー



児童と一緒に植え込みを行う



唐桑小学校での花育授業の様子

NPO法人ガーデンを考える会では、東日本大震災被災地の小学校に対する支援活動として、昨春に引き続き岩手県釜石市の小学校4校および宮城県気仙沼市の小学校12校に、4回目の支援活動を10月23〜24日に行った。

今回は気仙沼市の小学校7校を訪問し、その内の4校で、授業活動として会員有志12名とともに花苗や野菜苗等の植え込みを行った。その他の気仙沼市と釜石市の小学校には、花苗や植え込み資材の提供を行った。

提供内容は、冬から早春花壇向けのパンジー・ビオラを主体とした花苗を約4300ポット、チューリップの球根を約3000球、それを植え込むコンテナや培用土および肥料等、またそれらを購入する資金を、会員メンバーおよび園芸

業界被災地支援の会から募り、翌春まで楽しんでもらえるコンテナや花壇づくりの支援とした。

10月24日の当日は2班に分かれ、小原小学校・九条小学校・中井小学校・唐桑小学校・松岩小学校・面瀬小学校・階上小学校を訪れ、1年生から6年生までの多くの児童と一緒に植え込み活動を行った。その内の唐桑小学校では、「3年生の皆さんに「一年草と球根について」という内容での授業と、切り花を使ったアレンジづくり等の花育活動を約2時間近くかけ行った。また、併せて今後の支援活動への希望の聞き取り調査も実施した。

支援活動は今回で4回目になり、各小学校の先生とも顔見知りとなり、当初に比べ支援活動がスムーズに行えるよ

今回特別に支援活動に協賛いただいた 会員等の皆さま

アップルウエア(株)/キムラグリーン(株)/株シモジマ/
角田ナーセリー/豊明花き(株)/中島商事(株)/株ハイ
ポネックスジャパン/ハクサンインターナショナル(株)/
株芳樹園/北越農事(株)/株フラワーオークションジャ
パン/株牧野/株ユニソン/角緑花技研/株リック/株レ
イハウス/園芸業界被災地支援の会

うになっている。今後は、一緒に植え込み活動を行うだけでなく、植物について楽しく興味が持てる授業の花育活動も併せて行っていく予定。

震災から1年以上が経つが、海に近い沿岸地域では都市計画上の規制等もあり、基礎だけになった広い地域が雑草に覆われ、荒涼とした風景が続いている。このような環境が人々に与える負の影響は少なからずあり、今後は園芸関係者による幅広い支援が、特に必要になってくると思われる。

ガーデンを考える会では継続的な支援活動として、今後も支援活動を予定しており、ぜひ多くの皆様が、これらの活動に賛同し参加してもらいたいと呼びかけている。

(文/NPO法人ガーデンを考える会
会長 水野 隆 文責/編集部)